

【課題番号】 2-2104

【研究課題名】 脱炭素トランジション：イノベーションとライフスタイル変容の複数モデル評価

【研究期間】 令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）

【研究代表者（所属機関）】 杉山 昌広（東京大学未来ビジョン研究センター）

研究の全体概要

脱炭素トランジション： イノベーションとライフスタイル変容の複数モデル評価 研究代表：杉山昌広（東京大学未来ビジョン研究センター）	
背景	
パリ協定・長期戦略→日本の気候政策・持続可能性政策を支える政策研究の必要性 ● 2050年脱炭素社会 ● 広範なイノベーション, ● モデル分析とイノベーションの統合分析 ライフスタイルの変革 複数モデルを用いた緩和シナリオ研究とトランジション研究の接合	
研究実施項目	期待される知見
技術変化と社会変容に関するシナリオ分析、およびトランジション研究との接合 (東大・杉山, 研究協力者:国立環境研究所, 滋賀県立大) -複数のモデルのシナリオ分析 -頑健な政策パッケージの同定 -トランジション研究との接合 -システム・イノベーションとしての政策の導出	気候変動の観点から地域循環共生圏の実現に向けた環境行政へ役立つ知見を創出 ● 脱炭素トランジションにおけるイノベーション・ライフスタイル変容の役割の評価 ● システム・イノベーション政策への含意 アウトプット 政策決定者向け報告書 学術論文 →IPCC第7次評価報告書やFuture Earthの活動等への国際的な貢献
脱炭素トランジションの理論的フレームワークと日本への応用 (電中研・木村) -トランジション研究の包括的レビュー -日本の気候変動分野の事例への適用	
脱炭素トランジションと持続可能性に関する評価 (京大・大城、立命館大) -革新的イノベーションの経済的評価 -ライフスタイル変容も含めた持続可能性に関する多面的評価	
脱炭素トランジションのためのイノベーション・データベース構築 (エネ研・松尾) -イノベーション技術の不確実性分析のための基礎情報 -デジタル化、水素関連技術、カーボンリサイクリング、産業部門	
トランジションを支える再生可能エネルギーとセクター・カップリング (東大・小宮山) -高解像度モデルによる再生可能エネルギーの評価 -運輸部門、民生部門、産業部門とのカップリング	

